

様式第11号(第9条関係)

実績報告書

平成19年4月11日

市川市長

団体名 Re-いちかわ
代表者名 庄司 博志
所在地 市川市国分5-6-21
電話 047(372)1961

平成18年7月4日付け 市川第20060630-0174号をもって交付決定のあった市川市市民活動団体支援金に係る実績報告について、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例第15条第1項の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 110,898 円
2. 交付決定額 80,000 円
3. 添付書類
 - (1) 支援決定事業収支決算書(様式第12号)
 - (2) その他市長が必要と認める書類



[事業報告書]

事業の名称	家庭生ゴミの堆肥化利用方法の普及
実施時期 実施場所等	平成18年6月17日（いちかわ環境フェア）生涯学習センター 平成18年11月12日（第一回講演会）男女共同参画センター 平成19年2月24日（第二回講演会）男女共同参画センター 平成19年3月10日（見学会）Re-いちかわ須和田実験場
事業内容 （目的・経過等）	<p>目的：家庭から出る燃やすゴミの中で多くの割合を占めている生ごみを有用な堆肥にすることによって、家庭菜園やプランターで利用する方法を実践すると同時に多くの市民に普及することにより、市の燃やすゴミの処理にかかる費用を削減し、いわゆる循環型社会の構築に向けての市民の意識向上を図ることを目的とする。</p> <p>経過：上記目的のため、NPO法人有機農産物普及・堆肥化推進協会の会田節子事務局長を講師に迎え、平成18年11月と平成19年2月の二回、市川市男女共同参画センターにて「家庭生ごみの堆肥化利用」に関する実演と講演会を開催、第一回60名（定員オーバー）、第二回30名の市民の参加。</p> <p>その後生ごみを手軽に堆肥化する微生物資材（EMボカシ）の入手方法に関する問い合わせが多くなったが、市内で入手しにくいいため、我孫子のEMショップよりまとめて購入して希望者に分けることとした。</p> <p>また、EMボカシをふりかけて発酵させた生ごみを土に戻す様子を実際に見てもらうため、我々のグループが須和田に借りている実験場にて見学会を開催した。</p>
事業結果 （成果・課題等）	<p>成果：二回の講演会に合計90名の参加者があり、多くの市民がこの問題に関心があることがわかった。その後少しずつではあるが、生ごみの堆肥化を実践する市民が増えつつある。</p> <p>課題：第一回は我々の活動が市川市広報といちかわよみうりに記事として載ったため会場の定員以上の申し込みがあったが、第二回はPR不足のためか半数程度の参加者に留まった。適切なPRができればより多くの市民の参加が見込める。また、EMボカシが入手しにくいいため、堆肥化普及が遅れる可能性があり、今後はボカシ作成の講習会も行いたい。</p>

様式第12号(第9条関係)

支援決定事業収支決算書

事業の名称：家庭生ゴミの堆肥化利用方法の普及

1. 【収 入】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
支援金	80,000	市民活動団体支援金
会負担金	30,898	
合計	110,898	

2. 【支 出】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
会場使用料	4,200	男女共同参画センター(講演会2回分)
講師謝金	50,000	講演会2回分
印刷製本費	7,300	講演会チラシ他印刷代
通信費	8,420	講演会連絡費用
事務消耗品費	9,152	講演会事務用品、資料代
設営費	20,198	講演会設営費用
備品消耗品	11,628	EM菌、EMボカシ代他
合計	110,898	

※ 領収書を添付してください。